



平成30年度 学校だより

学校ホームページ <http://minamisyo.nagaizumi.ed.jp/>

みなみっ子

長泉町立南小学校

No. 51

平成30年12月18日

学校教育目標 「夢のある子」～めあてをもって

音楽集会6年生。スーパーキャプテンの合唱・合奏。

先週、6年生の音楽集会が開かれました。本番までの学級練習や学年練習では大変なことも多かったようです。

一人一人が**自分の声**をしっかりと出すことが、全体の美しい歌声につながります。まずは個人が自分の声を出すことを頑張ってきました。ある学級では、途中、気が緩み、練習に集中できないときもあったようです。帰りの会で、「**6年最後の集会の歌をちゃんと歌いたい!**」と帰りの会でみんなに訴えた仲間がいたようです。この言葉で学級の気持ちがまとまり、最後まで歌いきれた大きな要



因になりました。また、強弱や歌詞の意味を考えながらメッセージを伝えられるように何度も練習してきました。リコーダーでは、朝の会に毎日リコーダー練習をした学級もありました(仲間の演奏を聞きながら、歌をロズさむ仲間もいたようです)。

12月13日の本番。聴いていて心地よい6年生の音色が体育館に広がりました。指揮者に意識を集中し、一生懸命歌う姿にさすが6年生!と感心しました。緊張感もあったでしょうが、伸びのあるきれいな歌声が響きました。教室でも音



楽室でも、体育館練習でも、互いに声をかけ合って、**仲間と一緒に力をつけて**きた6年生。素敵な合唱&合奏をありがとう!

【6年生に感想を聞いてみました。】

◆練習をがんばってきて、歌い終わった時、やりつくしたっていう思いになりました。

◆私は、本番の日、今までで一番声の調子が良かったです。一番いい声が出ました。

◆(1年生が前で聴いていて、楽しくリラックスして歌えたでしょ?という質問に対して)ぜんぜん! 1年生がこっちを見て聞いてくれるのは嬉しいんだけど、手本というか、きれいな合唱を聴かせなきゃというか…、とにかく緊張しました(周囲の6年生がいっせいに頷いていました)。

◆実は、リコーダーのスタート時、練習よりもかなり速くなっちゃって…。でも、^{あゆ}亜夕先生がアイコンタクトで(ゆっくり!)と伝えてくれて、途中からいつものスピードになりました。よかった!

◆実は、合唱の歌い始めは声量がいつもより出ていなかったんだけど、二部に分かれるところからいつもの大きな声が出てきてホッとしました。

運動場に「ハイッ!ハイッ!ハイッ!」「1・2・3・4…!」の声響く。長縄8の字跳び。

持久走大会後、子どもたちは朝の運動場で縄とびに励んでいます。低学年は短なわとびに励む子、高学年では長縄8の字跳びに挑む子が多いです。8の字跳びの上手な学級は、ひっかかった仲間が出て、文句や**マイナスの言葉**は聞かれません。「大丈夫!」「できるよ!」「しゅーちゅー!」などと励ましや次へつながらる言葉が多いです。女子が呼びかけた練習に男子が入ってきたり、**6年生の練習を1年生が見入って**「すごい…」と感心していたりしました。



ある学級練習をのぞいてみました、ある女子が跳び終わった直後、勢いよく転びました。でも、その女子が**何もなかったかのように**列に並び、声を出しています。その気迫に鳥肌が立ちました。